

# プロダクトデータシート

# プロダクトデータシート

## シーカ®コントロール-1000 S

### フライアッシュコンクリート向け 高性能AE減水剤（標準形）

#### 概要

シーカ®コントロール-1000 Sは、ポリカルボン酸系化合物とエステル系化合物を主成分とする高性能AE減水剤（標準形）です。セメントの一部をフライアッシュ等で置換した環境配慮型コンクリートにおいて、優れた空気連行性を発揮し、硬化後の耐久性を損なうことなく、施工性に優れたコンクリートが製造できます。

#### 用途

- セメントの一部をフライアッシュで置換した環境配慮型コンクリート
- 空気連行性を阻害する材料を配（調）合したコンクリート

#### 性質 / 特長

- 減水性に優れ、AE減水剤（高機能タイプ）より単位水量の減少が可能です。
- フライアッシュの品質変動に影響されることなく優れた空気連行性を発揮します。
- フライアッシュコンクリートへのAE剤の過剰添加を抑制し、別添AE剤添加量の調整が容易になります。
- 水密性、耐久性を増し、高品質なコンクリートを製造できます。
- 無塩化タイプです。

#### 認証 / 規格

JIS A6204 高性能AE減水剤 標準形（1種）

#### 製品情報

主成分	ポリカルボン酸系化合物とエステル系化合物
荷姿	タンクローリー、18kg缶（受注生産品）
保存期間	缶の場合、未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。</li> <li>開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。</li> <li>凍結した場合（氷点：-2℃）は自然解凍させた後、よく混合して使用して下さい。</li> </ul>
外観 / 色	褐色液体
密度	1.010 ～ 1.090 g/cm <sup>3</sup>
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量	0.00 % 塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量は分析値例
全アルカリ量	1.0% 全アルカリ量は分析値例

#### 技術情報

具体的手引き	JIS A 6204 高性能AE減水剤規格による試験結果		
品質項目		標準形規格値	シーカ®コントロール-1000 S
減水率 (%)		18以上	20
ブリーディング量の比 (%)		60以下	21
凝結時間の差 (min)	始発	-60 ～ +90	+70
	終結	-60 ～ +90	+85
圧縮強度比 (%)	材齢7日	125以上	135
	材齢28日	115以上	122
長さ変化比 (%)		110以下	90
凍結融解に対する抵抗性 [相対動弾性係数 (%)]		60以上	98
経時変化量 (60分)	スランプ (cm)	6.0以下	3.0
	空気量 (%)	±1.5以内	-1.0
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.02以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.30以下	0.04

使用量はセメント質量に対して1.2%使用  
塩化物イオン量および全アルカリ量は、シーカ®コントロール-1000 Sの分析値より算出

#### 施工情報

- 推奨使用量**
- 使用量は結合材質量に対して0.5～3.0%の範囲で、目標とする単位水量が得られるように、あらかじめ試験練りによって確認して下さい。
  - コンクリートの空気量調整にはシーカのAE剤を使用して下さい。
  - 通常の高性能AE減水剤同様に練混ぜ水に混合して使用して下さい。

#### 製品データの基礎

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

#### 使用上の注意

- 減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料（セメント、骨材など）、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験練りを行って下さい。
- 他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。
- ナフタレン系やメラミン系の流動化剤は使用しないで下さい。
- 色は時間と共に多少変化しますが、性能上は問題ありません。

#### 健康と安全に関する情報

- 混和剤タンク内への立入りは禁止です。
- 長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- 皮膚に付着した場合は水と石鹸で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い、医師の診断を受けて下さい。
- 詳細は安全データシートを参照して下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

# プロダクトデータシート

## シーカ®コントロール-1000 M

### フライアッシュコンクリート向け AE 減水剤 高機能タイプ (標準形)

#### 概要

シーカ®コントロール-1000 Mは、ポリカルボン酸系化合物とエステル系化合物を主成分とするAE減水剤(標準形)です。セメントの一部をフライアッシュ等で置換した環境配慮型コンクリートにおいて、優れた空気連行性を発揮し、硬化後の耐久性を損なうことなく、施工性に優れたコンクリートが製造できます。

#### 用途

- セメントの一部をフライアッシュで置換した環境配慮型コンクリート
- 空気連行性を阻害する材料を配(調)合したコンクリート

#### 性質 / 特長

- 減水性に優れ、通常のAE減水剤より単位水量の減少が可能です。
- 通常のAE減水剤と同様な取り扱いやすさを持ち、安定したコンクリートが製造できます。
- フライアッシュの品質変動に影響されることなく優れた空気連行性を発揮します。
- フライアッシュコンクリートへのAE剤の過剰添加を抑制し、別添AE剤添加量の調整が容易になります。
- 無塩化タイプです。

#### 認証 / 規格

JIS A6204 AE減水剤 標準形(1種)

#### 製品情報

主成分	ポリカルボン酸系化合物とエステル系化合物
荷姿	タンクローリー、18kg缶(受注生産品)
保存期間	缶の場合、未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。</li> <li>開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。</li> <li>凍結した場合(氷点:-2℃)は自然解凍させた後、よく混合して使用して下さい。</li> </ul>
外観/色	褐色液体
密度	1.010 ~ 1.080 g/cm <sup>3</sup>
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.00 % 塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量は分析値例
全アルカリ量	1.2% 全アルカリ量は分析値例

#### 技術情報

具体的手引き	JIS A 6204 AE減水剤規格による試験結果		
品質項目		標準形規格値	シーカ®コントロール-1000 M
減水率(%)		10以上	15
ブリーディング量の比(%)		70以下	53
凝結時間の差(min)	始発	-60 ~ +90	+65
	終結	-60 ~ +90	+75
圧縮強度比(%)	材齢7日	110以上	120
	材齢28日	110以上	113
長さ変化比(%)		120以下	87
凍結融解に対する抵抗性[相対動弾性係数(%)]		60以上	97
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量(kg/m <sup>3</sup> )		0.02以下	0.00
全アルカリ量(kg/m <sup>3</sup> )		0.30以下	0.04
使用量はセメント質量に対して1.0%使用 塩化物イオン量および全アルカリ量は、シーカ®コントロール-1000 Mの分析値より算出			

#### 施工情報

- 推奨使用量**
- 使用量は結合材質量の0.7 ~ 1.5% (標準使用量1.0%)です。
  - コンクリートの空気量調整にはシーカのAE剤を使用して下さい。
  - 通常のAE減水剤同様に練り混ぜ水に混合して使用して下さい。

#### 製品データの基礎

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

#### 使用上の注意

- 減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料(セメント、骨材など)、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験練りを行って下さい。
- 他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。
- ナフタレン系やメラミン系の流動化剤は使用しないで下さい。
- 色は時間と共に多少変化しますが、性能上は問題ありません。

#### 健康と安全に関する情報

- 混和剤タンク内への立入りは禁止です。
- 長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- 皮膚に付着した場合は水と石鹼で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い、医師の診断を受けて下さい。
- 詳細は安全データシートを参照して下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

# 暫定版 PRODUCT DATA SHEET

## シーカ®コントロール-2700PC

### プレキャスト製品向けフライアッシュコンクリート用 高性能減水剤

#### 概要

シーカ®コントロール-2700PC はポリカルボン酸系化合物とエステル系化合物を主成分とするプレキャスト製品向けフライアッシュコンクリート用の高性能減水剤です。セメントの一部をフライアッシュ等で置換した環境配慮型プレキャストコンクリートにおいて、優れた空気連行性を発揮し、硬化後の耐久性を損なうことなく、施工性に優れたコンクリートが製造できます。

#### 用途

- セメントの一部をフライアッシュで置換した環境配慮型プレキャストコンクリート
- 空気連行性を阻害する材料を配(調)合したプレキャストコンクリート

#### 製品情報

主成分	ポリカルボン酸系化合物とエステル系化合物
荷姿	タンクローリー、18kg 缶 (受注生産品)
外観/色	褐色液体
シェルフライフ	缶の場合、未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6 カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。</li> <li>開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。</li> <li>凍結した場合(氷点:-2℃)は自然解凍させた後、よく混合して使用して下さい。</li> </ul>
密度	1.010 ~ 1.100 g/cm <sup>3</sup>
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.01 % 塩化物イオン量は分析値例
全アルカリ量	0.4 % 全アルカリ量は分析値例

#### 性質 / 特長

- 高い減水性を有し、かつフライアッシュの品質変動に影響されることなく、優れた空気連行性を発揮します。
- 水密性、耐久性を増し、高品質なプレキャストコンクリートを製造できます。
- 製品の表面美観に優れています。
- 無塩化タイプです。

#### 認証 / 規格

JIS A6204 高性能減水剤 (I 種)

#### 技術情報

具体的手引き	JIS A6204 高性能減水剤 規格による試験		
品質項目		規定値	シーカ®コントロール-2700PC
減水率 (%)		12 以上	14
凝結時間の差 (min)	始発	+90 以下	+20
	終結	+90 以下	+25
圧縮強度比 (%)	材齢7日	115 以上	138
	材齢28日	110 以上	132
長さ変化比 (%)		110 以下	84
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.02 以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.30 以下	0.01

使用量はセメント質量に対して0.95%使用  
塩化物イオン量および全アルカリ量はシーカ®コントロール-2700PCの分析値より算出

#### 施工情報

- 推奨使用量**
- 使用量は結合材質量に対して0.5 ~ 3.0%の範囲で、目標とする単位水量が得られるように、あらかじめ試験練りによって確認して下さい。
  - 通常の高性能減水剤同様に練り混ぜ水に混合して使用して下さい。
  - シーカのAE 剤を併用することにより、AE コンクリートにすることができます。

#### 使用上の注意

- 減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料(セメント、骨材など)、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合には、あらかじめ試験練りを行って下さい。
- 他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。
- ナフタレン系やメラミン系の流動化剤は使用しないで下さい。
- 色は時間とともに多少変化しますが、性能上は問題ありません。

#### データについて

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

#### 健康と安全に関する情報

- 混和剤タンク内への立入りは禁止です。
- 長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- 皮膚に付着した場合は水と石鹼で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い、医師の診断を受けて下さい。
- 詳細は安全データシートを参照して下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。



# 暫定版 PRODUCT DATA SHEET

## シーカ®ビスコクリート®-1000 S

### 高炉スラグ微粉末高含有コンクリート向け 高性能AE減水剤（標準形）

#### 概要

シーカ®ビスコクリート®-1000 Sはポリカルボン酸塩とリン酸基、ポリアルキレングリコール鎖をグラフト鎖に有するポリマーの混合物を主成分とする高性能AE減水剤（標準形）です。高炉スラグ微粉末を高含有した環境配慮型コンクリートにおいて、優れた粘性低減効果を発揮し、施工性に優れたコンクリートが製造できます。

#### 用途

- 高炉スラグ微粉末を高含有した環境配慮型コンクリート

#### 性質 / 特長

- 減水性に優れ、AE減水剤（高機能タイプ）より単位水量の減少が可能です。
- 優れた粘性低減効果を発揮し、施工性に優れたコンクリートを製造できます。
- 水密性、耐久性を増し、高品質なコンクリートを製造できます。
- 無塩化タイプです。

#### 認証 / 規格

JIS A6204 高性能AE減水剤 標準形（Ⅰ種）

#### 製品情報

主成分	ポリカルボン酸塩とリン酸基、ポリアルキレングリコール鎖をグラフト鎖に有するポリマーの混合物
荷姿	タンクローリー、18kg缶（受注生産品）
外観/色	褐色液体
シェルフライフ	缶の場合、未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。</li> <li>開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。</li> <li>凍結した場合（氷点：-2℃）は自然解凍させた後、よく混合して使用して下さい。</li> </ul>
密度	1.010 ~ 1.100 g/cm <sup>3</sup>
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量	0.00 % 塩化物イオン量は分析値例
全アルカリ量	0.5 % 全アルカリ量は分析値例

#### 技術情報

具体的手引き	JIS A6204 高性能AE減水剤 規格による試験		
品質項目		標準形 規定値	シーカ®ビスコクリート®-1000 S
減水率 (%)		18以上	20
ブリーディング量の比 (%)		70以下	24
凝結時間の差 (min)	始発	-60 ~ +90	+80
	終結	-60 ~ +90	+80
圧縮強度比 (%)	材齢7日	125以上	136
	材齢28日	115以上	126
長さ変化比 (%)		110以下	82
凍結融解に対する抵抗性 [相対動弾性係数 (%)]		60以上	92
経時変化量 (60分後)	スランプ (cm)	6.0以下	2.5
	空気量 (%)	±1.5以内	+0.8
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.02以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.30以下	0.02

使用量はセメント質量に対して1.0%使用  
塩化物イオン量および全アルカリ量はシーカ®ビスコクリート®-1000 Sの分析値より算出

#### 施工情報

##### 推奨使用量

- 使用量は結合材質量に対して0.5 ~ 3.0%の範囲で、目標とする単位水量が得られるように、あらかじめ試験練りによって確認して下さい。
- コンクリートの空気量調整にはシーカのAE剤を使用して下さい。
- 通常の高性能AE減水剤同様に練り混ぜ水に混合して使用して下さい。

#### 使用上の注意

- 減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料（セメント、骨材など）、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合には、あらかじめ試験練りを行って下さい。
- 他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。
- ナフタレン系やメラミン系の流動化剤は使用しないで下さい。
- 色は時間とともに多少変化しますが、性能上は問題ありません。

#### 健康と安全に関する情報

- 混和剤タンク内への立入りは禁止です。
- 長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- 皮膚に付着した場合は水と石鹼で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い、医師の診断を受けて下さい。
- 詳細は安全データシートを参照して下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

#### データについて

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

# 暫定版 PRODUCT DATA SHEET

## シーカ®ビスコクリート®-2800 PC

### 高炉スラグ微粉末高含有 プレキャストコンクリート向け 高性能減水剤

#### 概要

シーカ®ビスコクリート®-2800 PC はポリカルボン酸塩とリン酸基、ポリアルキレングリコール鎖をグラフト鎖に有するポリマーの混合物を主成分とするプレキャストコンクリート用高性能減水剤です。高炉スラグ微粉末を高含有した環境配慮型プレキャストコンクリートにおいて、低粘性で、施工性に優れたコンクリートが製造できます。

#### 用途

- 高炉スラグ微粉末を高含有した環境配慮型プレキャストコンクリート

#### 性質 / 特長

- 高い減水性を有し、高炉スラグ微粉末を高含有したプレキャストコンクリートにおいて、低粘性化を図ることが可能となります。
- 水密性、耐久性を増し、高品質なプレキャストコンクリートを製造できます。
- プレキャストコンクリート製品の表面美観に優れています。
- 無塩化タイプです。

#### 認証 / 規格

JIS A6204 高性能減水剤 (I 種)

#### 製品情報

主成分	ポリカルボン酸塩とリン酸基、ポリアルキレングリコール鎖をグラフト鎖に有するポリマーの混合物
荷姿	タンクローリー、18kg 缶 (受注生産品)
外観 / 色	褐色液体
シェルフライフ	缶の場合、未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6 カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。</li> <li>開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。</li> <li>凍結した場合 (氷点: -2℃) は自然解凍させた後、よく混合して使用して下さい。</li> </ul>
密度	1.010 ~ 1.100 g/cm <sup>3</sup>
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量	0.00 % 塩化物イオン量は分析値例
全アルカリ量	0.4 % 全アルカリ量は分析値例

#### 技術情報

具体的手引き	JIS A6204 高性能減水剤 規格による試験		
品質項目		規定値	シーカ®ビスコクリート®-2800 PC
減水率 (%)		12 以上	14
凝結時間の差 (min)	始発	+90 以下	+25
	終結	+90 以下	+30
圧縮強度比 (%)	材齢7日	115 以上	142
	材齢28日	110 以上	134
長さ変化比 (%)		110 以下	85
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.02 以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.30 以下	0.01

使用量はセメント質量に対して0.95%使用  
塩化物イオン量および全アルカリ量はシーカ®ビスコクリート®-2800 PCの分析値より算出

#### 施工情報

- 推奨使用量**
- 使用量は結合材質量に対して0.5 ~ 3.0%の範囲で、目標とする単位水量が得られるように、あらかじめ試験練りによって確認して下さい。
  - 通常の高性能減水剤同様に練り混ぜ水に混合して使用して下さい。
  - シーカのAE 剤を併用することにより、AE コンクリートにすることができます。

#### 使用上の注意

- 減水率、凝結時間などの性能は、コンクリートの材料 (セメント、骨材など)、コンクリートの配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合には、あらかじめ試験練りを行って下さい。
- 他の異なった混和剤との混合使用は避けて下さい。
- ナフタレン系やメラミン系の流動化剤は使用しないで下さい。
- 色は時間とともに多少変化しますが、性能上は問題ありません。

#### データについて

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

#### 健康と安全に関する情報

- 混和剤タンク内への立入りは禁止です。
- 長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意して下さい。
- 皮膚に付着した場合は水と石鹼で速やかに洗い流して下さい。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて口腔内を洗い、医師の診断を受けて下さい。
- 詳細は安全データシートを参照して下さい。
- 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

# プロダクトデータシート

## シーカメント® 1000SK (新名称 シーカビスコフロー -1000 SK)

### ポリカルボン酸系 あと添加型スランプ保持剤

#### 概要

シーカメント®1000SKはポリカルボン酸系化合物を主成分とするあと添加型のスランプ保持剤です。少量のあと添加で、スランプまたはスランプフローの保持性能を大幅に向上することができます。あと添加後のコンクリートは、あと添加前と比較して、スランプまたはスランプフローの変動が少なく、良好なワーカビリティを長時間保持することが可能になります。また、凝結時間への影響が少ないため、あと添加前のコンクリートと同等の強度発現性が期待できます。

#### 用途

- 長距離運搬が必要なコンクリート
- 長距離ポンプ圧送が必要なコンクリート
- 時間経過に伴うワーカビリティの低下が懸念されるコンクリート
- 暑中コンクリート

#### 製品情報

主成分	ポリカルボン酸系化合物
荷姿	18kg缶
保存期間	未開封で直射日光を避け冷暗所に保管して6カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管してください。また、開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意してください。</li> <li>▪ 凍結した場合（氷点：-2℃）は自然解凍させ、よく混合して使用してください。</li> </ul>
外観/色	黄褐色液体
密度	1.030 ~ 1.110 g/cm <sup>3</sup>
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量	0.01 % 塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量は分析値例
全アルカリ量	0.3% 全アルカリ量は分析値例

#### 性質 / 特長

- 少量添加で、コンクリートのワーカビリティを長時間保持できます。
- あと添加後のスランプまたはスランプフローの変動が小さいです。
- 凝結時間への影響が少ないため、あと添加前のコンクリートと同等の強度発現性が期待できます。

#### 認証 / 規格

JIS A 6204 減水剤 標準形 ( I 種 )

#### 技術情報

具体的手引き	JIS A 6204 減水剤 標準形 規格による試験結果		
品質項目		規格値	シーカメント® 1000SK
減水率 (%)		4 以上	4
凝結時間の差 (min)	始発	-60 ~ +90	+35
	終結	-60 ~ +90	+40
圧縮強度比 (%)	材齢7日	110 以上	119
	材齢28日	110 以上	116
長さ変化比 (%)		120 以下	94
塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.02 以下	0.00
全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> )		0.30 以下	0.00
使用量はセメント質量に対して0.4 %使用 塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値より算出			

#### 施工情報

##### 推奨使用量

- セメント質量に対して0.1～1.0%の範囲で使用してください。目標とするスランプまたはスランプフローの保持時間が得られるように、あらかじめ試験練りによって使用量を確認してください。
- コンクリートの空気量の調整にはシーカのAE剤、消泡剤を使用してください。
- アジテータ車に必要な量を添加し、シーカメント®1000SKとコンクリートが均一になるよう攪拌してください。攪拌時間は積載量や配(調)合により異なりますので、あらかじめ試験練り等で確認してください。

#### 製品データの基礎

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

#### 使用上の注意

- 保持性能や凝結時間等は、コンクリートの材料（セメント、骨材など）、コンクリートの配(調)合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験練りを行ってください。
- 他の異なった混和剤との混合使用は避けてください。
- あと添加後、過度の攪拌を行うと空気を巻き込む傾向があります。
- 色は時間と共に多少変化しますが、性能上は問題ありません。

#### 健康と安全に関する情報

- 長時間皮膚に触れたり、目や口に入らないように注意してください。
- 皮膚に付着した場合は水と石鹸で速やかに洗い流してください。目に入った場合は、直ちに15分以上大量の水で洗い流し、飲み込んだ場合は直ちに吐かせて、口腔内を洗い医師の診断を受けてください。吸入した場合は空気の新鮮な場所に移り、医師の診断を受けてください。
- 詳細は安全データシートを参照して下さい。



# プロダクトデータシート

## シーカ®ルガゾール-919 UR

### コンクリート打継目処理剤(超遅延タイプ)

#### 概要

シーカ®ルガゾール-919URは、従来のルガゾールCと同様にグルコン酸塩を主成分とし、かつ、傾斜面に散布しても流れを抑制する成分として、アルカリ増粘タイプの増粘剤を配合し、更に最大で3日後の洗い出しが可能になるコンクリート打継目処理剤です。コンクリート打継目に散布または塗布することにより、コンクリート表層薄層部の凝結・硬化を遅延させ、高圧洗浄機などで、レイタンスや脆弱部の除去を容易にまた均一に行うことができます。シーカ®ルガゾール-919URは水平打継ぎ以外に、勾配5%程度までの傾斜面の打継ぎにも適用できます。さらに、ブリーディング水によって流されにくいことから、これまでブリーディングの収束を待ってから行っていた散布は、コンクリートを打設後、粗均して直ちに散布することが可能となり、作業の効率化も期待できます。また、弊社が推奨する噴霧器を使用することで、散布後の視認性が向上するので、撒きムラ防止にも期待できます。

#### 用途

- 傾斜面も含むコンクリートの水平打継目処理

#### 製品情報

主成分	グルコン酸塩と糖類
荷姿	18kg缶
保存期間	未開封で直射日光を避け、冷暗所に保管して6カ月
保管状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>直射日光を避け、冷暗所で密封して凍結しないように保管して下さい。また、開封後はできるだけ早く使い切るようにし、異物が混入しないように注意して下さい。</li> <li>凍結した場合(氷点:-1℃)は自然解凍させ、よく混合して使用して下さい。</li> </ul>
外観/色	白色液体
密度	1.10 ~ 1.15 g/cm <sup>3</sup>
粘度	5.5 ~ 5.7 mPa・s 測定値例
pH値	5.7 ~ 5.9 測定値例

- 特に勾配5%程度までの傾斜面の打継目処理
- ブリーディングが多く流れやすい場合やブリーディングの収束時間がかかる場合
- 骨材洗い出し化粧仕上げなど
- シーカ®ルガゾール-919の超遅延タイプ

#### 性質 / 特長

- 従来と同様に電動スプレーで散布できます。
- 傾斜面やブリーディング水に対して流されにくく、従来と変わらない効果を発揮します。
- コンクリート打継面のレイタンスや脆弱部を容易、かつ均一に除去できます。
- コンクリート表面薄層部のみ遅延させるため、レイタンスや脆弱部の除去処理の時間的制約が少なくなります。
- コンクリート打継引張強度のバラツキも少なく、チップング処理と同程度以上になります。
- ウエットブラスト、チップング処理に比べて経済的で、工程短縮・省力化が図れます。
- コンクリートや鉄筋に悪影響を与えません。
- 週末金曜日に噴霧し、週明け月曜日の洗い出しが可能になります。

#### 施工情報

##### 推奨使用量

- 標準使用量は原液で300g/m<sup>2</sup>です。(季節・気温・現場環境・洗い出し時間に応じて200 ~ 400g/m<sup>2</sup>)
- コンクリート打設後、コテなどを用いてコンクリート表面をならします。
- シーカ®ルガゾール-919 URはコンクリート水平上面や勾配5%以内の傾斜面に散布して使用します。
- コンクリート表面を粗均し後、凝結始発前に噴霧器などでシーカ®ルガゾール-919 URをコンクリート表面に均一になるように散布します。
- 適宜、散布後、養生マットなどで覆い、乾燥や雨から保護して下さい。
- 6 ~ 72時間後に高圧洗浄機などでコンクリート表層部を洗い流します。(水が使用できない場合はジェットタガネなどを使用して下さい)
- 洗い出し終了後のコンクリートは十分に養生を行って下さい。

#### 製品データの基礎

このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。

#### 使用上の注意

- コンクリート洗い出し可能時間や洗い出し深さはコンクリートの材料(セメント、骨材など)、配合、温度などの条件により変わる場合があります。
- 推奨する使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試験を行った上でご使用下さい。
- 高強度コンクリートに使用する場合は通常より洗い出しに時間が掛かる傾向がありますので、あらかじめ試験を行うことをお勧めします。
- 側型枠が近くにある位置での水平打継目処理の際は、シーカ®ルガゾール-919 URが型枠面に沿って流入することがあるため、散布をひかえるか、防止用の面木、垂木などをコンクリート天端に固定し防止して下さい。

- 缶の底面の一边を床につけて前後に5回振り、更に、他の一边で同様に5回振ってからご使用ください。
- 一度開封され、材料が比較的長時間直射日光に曝された場合、色が抜けて透明に近くなる場合がありますが、性能に変化はありません。
- 異物混入などによりpHが高くなると、粘度の増加やゲルが発生することもあります。生じたゲルは、散布に使用する噴霧器を詰まらせる原因となりますので、噴霧器は水道水や清水で十分に洗浄してから使用してください。噴霧器に余り元の缶に戻すことは、ゲル発生の懸念から避けて、使いきる量で使用してください。
- 多量のシーカ®ルガゾール-919 URを誤ってコンクリート打継面への散布や、こぼした場合は、シーカ®ルガゾール-919 URおよびその部分のコンクリートを除去して下さい。



## 規制

各地域固有の規制の結果、製品のパフォーマンスが国により異なる可能性があることにご留意ください。実際の施工現場に関する情報は、その地域のプロダクトデータシートをご確認ください。

## 免責事項

シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料、接着面、現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものでもありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシートの最新版をご参照下さい。プロダクトデータシートの最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。〔15各地域固有の法令及び規制に対しても、上記免責条項が適用されることがあります。上記免責条項を変更するには、いかなる場合でも、スイス・バールにあるシーカ本社法務部による許可が必要となります。〕

シーカ・ジャパン株式会社  
〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7  
赤坂Kタワー 7F  
Phone:03-6434-7291  
jpn.sika.com



BUILDING TRUST

